

議員総会会議録（要点筆記）

日時：令和5年6月21日（水）

場所：全員協議会室

午後2時00分 開会

午後3時07分 閉会

○沢田清議長

ただいまから、議員総会を開会します。本日の議題は、「地方独立行政法人知多半島総合医療機構設立に向けて」であります。令和7年4月に 地方独立行政法人 知多半島総合医療機構の設立を予定していることについて、病院管理課職員から説明いただき、議会としても共通認識のもと、理解を深めて参りたいと思いますので、よろしくお願いします。

○永井徹管理課主幹（経営統合）

【資料に基づき説明】

○青木賢治管理課主幹（病院建設）

【資料に基づき説明】

○沢田清議長

報告は終わりました。このことについて何か御質疑ありませんか。

○小出義一議員

半田病院が新しくなることで、半田・常滑地域の医療がどのように変わると考えていますか。また、病床数がどのように変わるのか教えてください。

○榊原崇管理課長

現在、知多地域全体では病床が不足している現状があります。この度の新病院建設と経営統合により、病院機能の分担を行い効率的な運営を行うことで病床数が確保できるため、地域医療の発展に寄与するものと考えています。具体的な病床数については、この地域の患者数の動向を踏まえて変更しており、半田病院では、高度急性期の病床が22床から33床に増え、急性期を100床近く減らし383床となります。常滑病院では、急性期を45床減らして134床となり、回復期については44床増える予定です。

【「どこに書いてありますか。」と呼ぶ声あり】

資料には記載していませんので、後ほど取りまとめた資料を事務局経由で提供させていただきます。

○有留麻由議員

先ほどの説明だと、回復期の病床が不足するのではないかと懸念していますが、対応は可能と考えていますか。

○榊原崇管理課長

回復期の病床については、既に常滑市民病院において病床数を増やしていることと併せて、経営統合後も病床数を増やす予定ですので対応が可能と考えています。

○中村和也議員

説明の中で、病院建設は予定どおり進んでいるとのことでしたが、関係者から一部では進捗状況が芳しくないといったことも聞いています。全体的に見て遅れている部分はありますか。また、職員をはじめ事

業関係者に対して進捗状況の情報共有は行っていますか。

○青木賢治管理課主幹（病院建設）

現在のところは、全体的に予定どおり進んでいます。進捗状況について、関係各所への情報共有はこれまで行っていなかったため、今後実施していきます。

○中村和也議員

新半田病院の名前について、格式が高いものであるとの説明がありました。市民に対してすごい病院であることを伝えていきたいと思いますが、どのような病院であると説明するのが適当であると考えていますか。

○竹内甲司半田病院事務局長

新病院では、1つの法人で2つの病院を運営していくため、急性期から回復期まで切れ目のない医療が提供できるようになるという点が強みであると考えていますので、その様に市民に説明いただけると良いかと思います。

○中村和也議員

最先端の高度医療を受けられる病院では、国の認定を受ける場合もあると伺っていますが、知多半島総合医療機構では国の認定を受けるような医療を実施する予定はありますか。

○竹内甲司半田病院事務局長

現在のところ、特別に認定を受けるような医療を実施する予定はありませんが、今後、必要に応じて検討してまいります。

○榊原瑞輝議員

独法化に伴う、従業員の取り扱いについて伺います。従業員は独法化によって契約形態や身分が変わることはありませんか。

○永井徹管理課主幹（経営統合）

公務員ではなくなりますが、契約形態や身分はそのまま引き継がれます。

○田中嵩久議員

身分は引き継がれるとのことですが、給与形態も同様ですか。

○永井徹管理課主幹（経営統合）

給与形態については、現在検討中です。

○有留麻由議員

新型コロナ等の感染症の対策が必要となった場合の対応はどのようになりますか。

○竹内甲司半田病院事務局長

常滑病院では感染症病棟をもっているため対応していくこととなります。しかし、コロナ禍のようなパンデミック時には半田病院においても何らかの対応の必要が出てくるのではないかと考えています。

○沢田清議長

ほかにありませんか。

（「なし」との声あり）

ないようですので、この件はこれで終わります。以上で本日の議題は全て終了しました。

これにて、議員総会を閉会します。

午後3時07分 閉会